

企画展「持続するモノガタリ - 語る・繋がる・育む 八戸市美術館コレクションから」



3月19日(土)からはコレクションを展示

開館2つめとなる企画展・プロジェクトは、八戸市美術館がもつ約3,000点のコレクション(収蔵作品)・資料の中からセレクトしたさまざまな作品を、作品(モノ)が語ることと、作品を語ることの2つの意味での「モノガタリ」をテーマにご紹介します。企画展に先立ち、3月12日(土)からは、コレクションラボにおいて、舟越保武作品を紹介する展覧会もスタートします。

お問い合わせ先

八戸市美術館 031-0031 青森県八戸市大字番町10-4 TEL | 0178-45-8338(代表電話) FAX | 0178-24-4531
E-mail | art@city.hachinohe.aomori.jp 八戸市美術館公式 HP | <https://hachinohe-art-museum.jp>
担当者(広報)|大澤、平井



コレクションより作品約 100 点を展示

作品(モノ)が語ることと、作品を語ることの2つの意味での「モノガタリ」によって、コレクションの物語を持続させること。それが美術館の使命であり、本展のテーマです。

作品は、色彩や形、微細な筆致で視覚的に私たちへ語りかけてきます。また、誰もが作品を語ることで物語を生み出しています。そうして生まれた大小無数の物語は、目には見えないけれども作品を彩る存在です。本展では、八戸市美術館のコレクション成立の歴史や風景、人々の交流といった時間・場所・人を切り口にして、作品とともに人々の語りを展示します。この人々の語りが、作品をより饒舌にさせることでしょうか。さらに、観覧会を訪れた人々が語ることで、コレクションは八戸の土地や人々、未来とつながり、この場所で育まれます。美術館に蓄積されて語り継がれる物語が、新たな物語の誕生を促し、モノガタリは続いていきます。

• 企画展名

持続するモノガタリ - 語る・繋がる・育む 八戸市美術館コレクションから

• 会期・開館時間・休館日

2022年3月19日(土)～6月6日(月) 10:00～19:00

※展示替えあり〔4月27日(水)～後期展示〕

休館日|火曜日、5月11日(水) ※5月3日(火・祝)は開館

• 会場

八戸市美術館ホワイトキューブ

• 作家

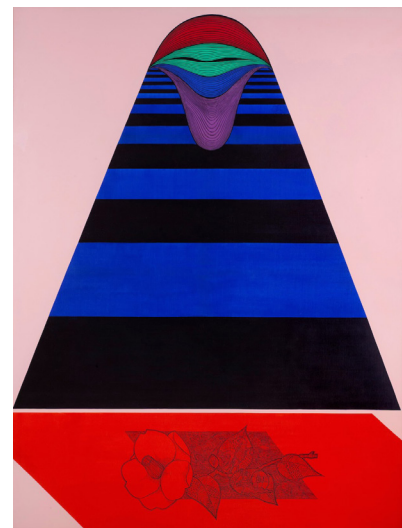
池田恭三、石橋宏一郎、石橋忠三郎、今川和男、岩織治、宇山博明、大久保景造、久保田政子、小島恵次郎、佐々木泰南、島岡達三、月館れい、東郷青児、豊島弘尚、名久井由蔵、七尾英鳳、西村健次郎、橋本雪蕉、八戸市立鮫中学校版画グループ、八戸市立湊中学校養護学級生徒

• 担当学芸員

篠原英里、平井真里、山田泰子

• 会場構成

佐藤慎也(八戸市美術館館長)



豊島弘尚《墓獅子舞A》1968

見どころ

1 5年ぶりのコレクション展

旧美術館最後の展覧会である教育版画展から、約5年ぶりのコレクション展です。本展では、大切に保管されてきたコレクションから厳選し、前後期合わせて計約100点の作品を展示します。旧美術館で作品を見てきた方にとってはどこか懐かしく、初めて来館される方にとってはコレクションを知ることでできる企画展・プロジェクトです。

2 コレクションの成り立ちや歴史を紹介

八戸市美術館の約3,000点のコレクションを中心に、八戸市美術館の設立までの歴史やコレクションの成り立ちを紹介します。八戸市博物館や是川縄文館の資料も織り交ぜながら、八戸市の美術の歴史にも触れていきます。

3 “モノガタリ”映像撮り下ろし

作品にはそれぞれに“モノガタリ”があります。それらの“モノガタリ”は作品が制作されてから展示されるまで、さまざまな人やことと繋がりながら育まれてきました。本展では、作品やコレクション、美術館の設立に関わった人びとに担当学芸員がインタビューし、映像に収めました。映像は作品と共に展示され、見る人に“モノガタリ”を届けます。



八戸市立湊中学校養護学級生徒《虹の上をとぶ船総集編II 星空をペガサスと牛が飛んでいく》1976 ※後期のみ展示(4/27~6/6)



新しいチケットシステムと割引が加わります。 - フリーパス「かおパス」、駐車場割引

「持続するモノガタリ」から、新しく追加となるチケットシステムと割引内容です。

• フリーパス「かおパス」

好きな時に何度でも同じ展覧会を観覧いただけるお得なフリーパスです。展覧会ごとに料金を設定。会期内に初回登録すれば、2回目以降は入口に設置しているサーモカメラの顔認証システムにより「かおパス」します。(展覧会ごとに認証データは削除いたします。)

料金|一般1,200円、小・中・高校・大学生150円

• 駐車場割引

近隣の有料駐車場を利用していることがわかる駐車券や駐車証明書の提示により、運転者1名分に団体割引を適用します。

• 65歳以上割引

これまでの八戸市在住で65歳以上の方に加え、八戸市連携中枢都市圏域(三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町)にお住まいの65歳以上の方も割引を適用します。

注意|各種割引は、重複して適用はできません。

企画展「持続するモノガタリ-語る・繋がる・育む 八戸市美術館コレクションから」 観覧料体系

観覧料(通常) 一般800円(700円)、小・中高校・大学生100円(80円)

フリーパス・各種割引 (重複して適用はできません。)

フリーパス「かおパス」 「持続するモノガタリ」を何度でもご覧になれます。
一般1,200円、小・中高校・大学生150円、65歳以上・障がいのある方600円

団体割引 20名以上の場合、ひとりあたりの観覧料が割引になります。
一般700円、小・中高校・大学生80円

子ども割引 未就学児、八戸市内および近隣町村(三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町)の小・中学生は無料

65歳以上割引 八戸市内および近隣町村(三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町)在住の65歳以上の方は通常料金の半額

障がい者割引 障がい者手帳をお持ちの方とその付添者1名は半額

駐車場利用割引 近隣の有料駐車場を利用していることがわかる駐車券などの提示により、運転者1名分に団体割引を適用



もっと“モノガタル”ためのプロジェクト

1 茶会 with 静寂

福田剛三郎《静寂》のモデルをつとめた福田宗和がお茶を点て、おもてなしします。

講師 | 福田宗和

日時 | 3月27日(日) 15:00～16:00

定員 | 30名

参加料 | 500円

申込 | 電話またはメール。2月20日申込開始。



福田剛三郎《静寂》1933

2 鑑賞クラブ「木夕」

木曜夕方のクラブ活動。作品を1点選び、集まったみんなで楽しくおしゃべりしながら鑑賞します。

日程 | 3月31日(木)、4月14日(木)、4月28日(木)、
5月12日(木)、5月26日(木)

時間 | 18:00～18:45

定員 | 各回10名

参加料 | 無料 ※要展覧会チケット

申込 | 電話またはメール。2月20日申込開始。



福田寛《燕島》制作年不詳

3 アーティストトーク

アーティストが自身の展示作品を語ります

日時・アーティスト | 4月24日(日)11:00～12:00 石橋忠三郎、
5月22日(日)11:00～12:00 今川和男

定員 | 各回20名

参加料 | 無料 ※要展覧会チケット

申込 | 電話またはメール。2月20日申込開始。



石橋忠三郎《浸食》1991

4 ギャラリートーク

学芸員が展覧会の見どころを語ります。

日程 | 3月19日(土)、4月9日(土)、5月8日(日)、6月5日(日)

時間 | 14:00～15:00

講師 | 篠原英里(本展担当学芸員)

定員 | 各回20名

参加料 | 無料 ※要展覧会チケット

申込 | 不要



5 アートファーマープロジェクト かだるアート コレクション編

参加者がオリジナルのコレクション展を企画するプロジェクト。

日程 | 4～6月頃

※プロジェクトの詳細については後日ご案内します。

同時開催 展覧会「コレクションラボ 001 舟越保武展 静謐の中に佇む」

コレクションをさまざまな切り口で紹介する展覧会シリーズ「コレクションラボ」をスタートします。第1回は、彫刻家・舟越保武(1912-2002)を紹介します。具象彫刻の頂点を築いた彼の世界をご鑑賞ください。

• 展覧会名

コレクションラボ 001

舟越保武展 静謐の中に佇む

• 会期・開館時間・休館日

2022年3月12日(土)～6月20日(月) 10:00～19:00

※展示替えあり

休館日|火曜日、5月11日(水) ※5月3日(火・祝)は開館

• 会場

八戸市美術館コレクションラボ

• 観覧料

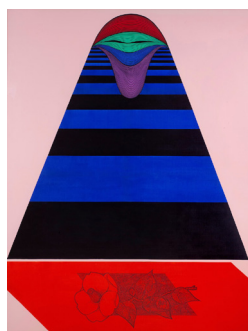
無料



広報用画像



a



b



c



d



e



f

- a クレジット不要
- b 豊島弘尚《墓獅子舞 A》1968 八戸市美術館蔵
- c 福田剛三郎《静寂》1933 八戸市美術館蔵
- d 石橋忠三郎《浸食》1991 八戸市美術館蔵
- e 福田寛《蕪島》制作年不詳 八戸市美術館蔵
- f 八戸市立湊中学校養護学級生徒《虹の上をとぶ船総集編II 星空をペガサスと牛が飛んでいく》1976 八戸市美術館蔵

広報用画像をご希望の方は、【1. 会社名 / 組織名、2. 媒体名・媒体の種類(雑誌、テレビ、webなど)、3. ご担当者名、4. ご連絡先、5. 掲載／放送予定日、6. 画像到着希望日、7. ご希望の写真が掲載されているプレスリリースの発行日、8. ご希望の画像記号】をメール、または FAX に明示の上、下記、お問い合わせ先までご連絡ください。

[画像の貸出条件]

- ・画像は本企画・美術館の紹介の目的のみにお使いいただけます。
- ・画像データは第三者へ譲渡せず、使用后すみやかに消去してください。
- ・画像のトリミングについては事前にご相談ください。
- ・作品画像の上に図や文字を重ねることはできません。
- ・画像を掲載、放送する際には、指定のクレジット表記を必ずいれてください。
- ・画像を掲載、放送する前に、ゲラ等掲載案をお送りください。担当者が確認します。
- ・新聞紙、雑誌、書籍等の印刷物に画像を使用する際は、八戸市美術館に1部ご寄贈ください。

お問い合わせ先

八戸市美術館 031-0031 青森県八戸市大字番町10-4 TEL | 0178-45-8338(代表番号) FAX | 0178-24-4531
 E-mail | art@city.hachinohe.aomori.jp 八戸市美術館公式 HP | https://hachinohe-art-museum.jp
 担当者(広報)|大澤、平井